

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 463号	氏 名	瑪依努尔 孜帕尔
審査委員	主査 獅々堀 正幹 副査 泓田 正雄 副査 永田 裕一 副査 松本 和幸		
学位論文題目 A Study on Childcare Information Extraction from Twitter Text (Twitterテキストからの育児情報抽出に関する研究)			
審査結果の要旨 <p>本論文では、Twitterテキストから育児情報を抽出する研究について報告を行っている。現代において、子供を育てる多くの親が、ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) を通じて育児に関する情報を発信している。これらの情報を適切に参照できるようにすれば育児に関する知見の共有を実現でき、有用であると考えられる。SNSから個人の体験やライフイベントの情報を抽出する研究はこれまでに多く行われているが、育児に関する情報をSNSから抽出する研究は数少ない。</p> <p>育児に関する情報は、子供の発達段階に応じて変化するため、育児情報を参照するさい、何歳くらいの子供の情報であるかを適切に判断することが必要である。本論文では、機械学習によって、SNS上の育児に関するテキストと、そのテキストが何歳くらいの子供に関する内容なのかの関連を分析する手法を提案している。</p> <p>提案手法では、Twitterのプロフィールと本文のテキストを0歳から6歳までの年齢に分け学習データを作成し、未知のデータに対して、記述された子供の年齢を推定する機械学習を行っている。実験では、近年標準的手法として使われる大規模言語モデル (LLM) による推定 (BERT) と、古典的手法を比較し、BERTが高い分類精度を示すことを確認している。さらに、より育児に特化したSNS (ママリ) に対しても同様の分類手法を適用し、特に本文テキストに対して、Twitterより高い精度を示すことを確認している。また、このママリを学習データに用いた場合のTwitterの分類精度についても報告している。このように、プロフィールと本文の違い、および、異なるSNS間の違いなど、異なる性質のテキストに対して、複数の機械学習手法を試し、子供の年齢推定に関する網羅的な知見を提示している。</p> <p>以上本研究は、機械学習によるSNSの育児知識の抽出に貢献するものであり、本論文は博士 (工学) の学位授与に値するものと判定する。</p> <p>なお、本論文の審査には、吉田稔講師の協力を得た。</p>			